

## 令和7年度、「さくら」と「しいの木」がはじまります。

令和7年がはじまりました。いよいよ令和7年4月から「さくら校舎」での教育活動と「しいの木分教室」がはじまります。さくら校舎もしいの木分教室も、スムーズに移転・運営ができるよう教職員が力を合わせて進めてまいります。年末に、「都立中野特別支援学校さくら校舎（東中野仮設校舎）&しいの木分教室ガイドツアー」のリーフレットをお送りしています。本校高等部生徒の協力も得て作成しました。さくら校舎は体育施設がなかったり、しいの木分教室も離れたりしていますが、楽しみだな！と感じていただけたらうれしく思います。さくら校舎への引越は、令和7年3月21日（金）から3月27日（木）の予定で、教職員は3月26日（水）からさくら校舎で業務を開始する予定です。電話番号の変更はありません（03-3384-7741）。

しいの木分教室は、児童・生徒9名（小5：3名、中2：1名、中3：1名、高1：1名、高2：3名）、教職員22名（副校長、養護教諭、行政系職員含む）でスタートします。始・終業式や日常の場面ではオンラインを行い、本校の中学部と高等部の生徒は学期に1回程度、借り上げバスでしいの木分教室に行って交流学习をします。また、修学旅行も合同実施とする予定です。千葉県市原市にあるしいの木分教室の子供たちと本校の子供たち、教職員同士の連携・交流を大切に、中野の仲間としてともに歩いていこうと思っています。

さて、本校の新校舎（令和12年度完成予定）の設計も進んでいます。現在、玄関に新校舎の模型が展示してありますので御来校の際はぜひご覧ください。子供たちも興味津々で見えております。5階建ての設計（お隣の島忠ホームズさんと同じくらいの高さになります）になり、プールは室内、体育館は大小2つあります。「つつじ館」はリフォームを行い、子供たちが実習活動するカフェや地域開放に活用します。普通教室は、日常的にICT機器が使いやすいような工夫や、子供たちが落ち着いて学習できる空間であることを意識して設計しています。

ところで、新校舎の校庭は現在の場所と変わりなく広さも同じくらいなのですが、緊急避難路を現在の第二校舎の裏に設置する予定で、桜の木（ソメイヨシノ）など伐採が必要になってしまいました。何とか伐採しない方法はないか、あるいは移植はできないか検討しましたが、工事に支障がでること、またソメイヨシノは寿命が60年ほどと言われておりますので、伐採はやむなしかと残念に思っております。本校の開校から子供たちを見守ってくれた木々です。せめて、伐採された木々を木材にして再利用できないかと考えてもみましたが、費用や加工技術がないことが立ちふさがり、頭を悩ませております。保護者の方々に何か良い考えがございましたらお教えください。

さあ！令和7年、「さくら校舎」と「しいの木分教室」という中野特別支援学校の歴史の「新しい章」のはじまりです。子供たちも教職員も、はじめはとまどうこともあると思いますが、一つひとつ確認しながら、何よりも子供たちの安全を守り、しっかりと学習できる環境を整えてまいります。本年もどうぞよろしく願いいたします。